



西原町

まっかいたし

今回の表紙題字

西原東小学校4年

座波 大斗さん

西原南フアターズ 平成30年卒業生の会

2021(令和3)年 3月議会
6月1日発行

No. 88



西原南フアターズ

「第30回横浜DeNAベイスターズ旗争奪少年野球大会」で準優勝しました。
野球ができる環境に感謝し、これからも一生懸命がんばります！

6月4日(金)午前10時 6月定例会開会予定

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



みやざと よしお
宮里 芳男 議員

与カット等を行った。(2) 新規事業19件、終了事業9件。(3) 中期財政計画では令和4年度4億3,691万円、令和5年度4億8,503万円の収支不足の見込み。

■新型コロナウイルスについて

問 (1) 町内の医療従事者は何名で接種場所及び終了予定は。(2) 町内の高齢者数と接種場所、終了予定は。(3) 町民へのワクチン接種の実施は何月をめどに、どこで行うのか。

福祉部長 (1) 対象人数は1,100名見込み、町内7医療機関で6月中には完了予定。(2) 町内の高齢者約8,200人に対し接種を受ける

人数は約6,200人の見込み。町内医療機関による個別接種と町保健センターでの集団接種を予定。終了予定はワクチンが順調に供給された場合、3月から4か月の見込み。(3) 国からのスケジュールが示されないため見通しを立てるのが難しい状況。

■行政懇談会について

問 町長は、多くの課題等を直に町民と対話し町政運営に生かしてほしい。予定はしているか。

町長 大変重要な場であり、是非実施していきたい。今後新型コロナウイルス感染状況の動向を踏まえ、実施時期を判断していきたい。

■法定外公共物使用について

求めたい。

教育長 各学校でいじめに関連したアンケートで悩み事を聞いたり、投書箱の設置等しているが、今回の学校でのパワハラについて、指導者や子どもに関わる生の声を拾う必要がある。校長会で指導したい。

問 坂田ハイツ自治会事務所となり空き地が法定外公共物になっており、自治会での使用が許可された。(1) 使用期限は5年間となっている。(2) 許可条件として雑草が繁茂しないよう管理することになっている。又、現在の構造物の撤去はどのようにするか。

建設部長 (1) 期間満了前に再申請が必要。(2) 総合的に判断する必要があるため、今後は町と自治会と調整する必要がある。

その他の質問
○農水産物流通・加工・観光拠点施設について
○県道浦添西原線の進捗状況
○県道那覇北中城線進捗状況

■コロナ禍の子どもたちの学習支援とメンタルケアの充実を!!

問 コロナ禍の教育格差を心配している。期待した学習支援員が配置できない中、2月に放課後や休日の無料学習塾開設を要望したが状況は。

教育長 教育に格差があってはいけない。新年度、無料塾に近い形で中学生を対象にできないか検討している。

問 1月に県立高校の2年男子が顧問のパワハラで自殺する痛ましい事件が発生。町内の小中学校の部活動でパワハラ指導はないか、容認する風潮はないか。

教育総務課主幹 中学校では教育委



いじゅ さとる
伊集 悟 議員

員会が定める部活動方針で、体罰禁止、人権配慮等の周知徹底をお願いしている。小学校も連絡協議会にて、共通理解をしていると考える。

問 今の答弁では実態を把握していると思えない。保護者からいろいろ聞いている。方針を守るよう通知だけでなく、学校や指導者、保護者、何より子どもに聞くなど調査を

育の実施に向けた財政支援を拡充し、その充実を図ることにより待機児童の解消を取り組むこととしている。

問 西原町の子育て世代の人口は減少している。一方で近隣市町村では子育て世代の人口は増加している。子育て、教育環境が悪化してきている現状について町長の見解を伺う。

町長 若い世代の皆さんは、やはり自分たちが子育てする中において、その市町村に魅力があるから来るのだと、集まるのだということは、当然私も分かっている。その中で福祉部門だけではなく、町全体のまちづくりも含めて、私はやる必要があると思う。1点目は、西地区を早めには事業化を進めて町並みをしっかりつくって

■待機児童と対策について

問 令和3年度の待機児童解消への取り組みについて伺う。

町長 次年度も引き続き保育補助者雇上強化事業及び保育士試験受験者支援事業を継続するとともに、新たな取組として認可保育園での発達支援保

■障害がある子どもにもともに育つ多様性を認め合う保育を

問 聴覚障害児が、加配保育士確保ができないとの理由で待機になった。町の障害児保育の後ろ向きさを危惧し、先口保護者と沖縄県聴覚障害児を持つ親の会とともに、町長と障害児保

育の考え方について意見交換した。町長は大変重要なことでしっかり考えたいと。担当課も結論ではなく、利用調整に努めると伺ったが進捗状況は。

町長 子どもたちの未来をしっかりと見てほしいという提案を受けて担当部署と調整し加配保育士の確保ができるよう発達支援保育の財政支援も拡充した。

いごも課長 2月当初は5名の障害児の待機がいたが保育所と利用調整を図り2名は入所できた。今後も早期入所に向けて取り組んでいく。

福祉部長 民生委員協力員制度については町としても今後活用できるということであれば、内部でも検討していきたい。

いく。あとはM・C・Eの関連。国との膠着状態が続いているが、企業も含めて、この事業を動かすような方向性、それも私はトップセールスの中で動いていかなければならないと思っっている。一步一步前進をしていくというところが一番大事なことかと思っており、教育環境もしっかり整えながら、西原町が本場に誇れるような文教のまちになるように、私も努力をしていきたい。

■高齢者の支援について

問 高齢者の支援について関係機関と協力しながら対応しているが、西原町では民生委員のなり手不足問題がある。民生委員協力員制度の実施を検討してはどうか。

その他の質問
○障がい者や高齢者の権利擁護について
○コロナ禍の学校行事について
○母子健康包括支援センターについて
○重層的支援体制整備事業について



一般質問

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



まえさと こうしん
前里 光信 議員

一人暮らしの高齢者について

問 西原町全体で一人暮らしの高齢者は、どの程度いるのか。その対応について、町当局や地域の自治会等はそのような対応をしているのか。

福祉部長 町内の一人暮らしの高齢者は令和2年4月1日時点で1、

657人となっている。地域包括支援センターに委託している総合相談支援業務の一つに、地域の高齢者の実態把握がある。現在、地域包括支援センターでは、地域の住民に身近な自治会で相談を受け付け、センターにつなぎ、一人暮らしの高齢者に限らず、地域の高齢者の実態把握に努めている。

国民健康保険の入院費の件

問 国民健康保険で入院治療をした方々で、最も高い入院費は1か月幾らかかったか。その病名とかかった金額を上からベスト5まで示されたい。

福祉部長 今年度における国民健康保険での1か月当たりで最も高い入院費は、817万4,490円で

2番目が638万4,270円、3番目は587万5,100円、4番目は573万9,460円、5番目は563万9,030円となっている。病名は全て心疾患である。

町内の自殺者について

問 町内で自死した例があれば示してほしい。また町の自殺防止対策を伺う。

福祉部長 本町では自殺者数は年によってばらつきがあるが、毎年5人前後で推移している。自殺に関する相談は随時、保健師が相談事務を担っている。

小中学校のトイレの改善

問 町立小中学校のトイレの和式から洋式の改造工事が未だに出来てないのは何故か。

教育部長 各学校の施設については、建物本体及び設備関係の老朽化が進み、修繕箇所も年々増大してきている。児童生徒が快適な学校生活を送るために洋式化は必要と考えていて、年次的に数か所ずつでも洋式トイレへ改善を進めていきたいと考えている。

その他の質問
○町道の外灯のLEDに替える工事について
○観光協会の設立について
○町長の施政方針について
○新型コロナウイルス感染症の対応について
○各教室の照明について

町長の施政方針

問 新型コロナウイルス感染症対策について、接種対応でプロジェクトチームを設置するとある。(1)人員と接種の予定は。(2)医療機関との調整は。(3)対象人数の詳細は。

町長 (1)新型コロナウイルスワクチン接種の準備のため、1月から健康支援課に主幹と応援職員2名を配置している。接種の予定については、現時点ではワクチンの供給量がかなり少なく、県及び他市町村の情報を得ながら方針を考えていく予定である。

福祉部長 (2)1月から町内医療機関と調整をしているが、個別接種に12の医療機関の協力が得られる見込みとなっている。(3)本町の対象人数は、



おおしろ よしたか
大城 純孝 議員

医療従事者が約1,100名、高齢者が約8,200人、20歳から59歳の基礎疾患を有する方が1,700人、高齢者施設等の従事者が約500人、60から64歳の方が2,200人、それ以外の方が2万1,700人となっている。

問 執行体制と行財政の確立の中で、会計年度任用職員の方々と正職員の働く環境は変化があったのか伺う。

りについてはどうか。

ごごも課長 県と協力できる部分や町として関わっていきける部分を精査して検討していきたいと考えている。

GIGAスクール構想について

問 GIGAスクール構想のスタートはいつか。

教育総務課長 端末の設定に時間がかかっており、整い次第すぐに配布し、先生方への研修等を行ってから児童生徒の活用になっていく。

町の活性化へ商品券の活用実績は

問 さわりん商品券の利用率はどのくらいあったか。

建設部長 利用率は約94%で、970万2,000円分の利用となっ

問 東海岸サンライズベルト構想への対応は

東海岸サンライズベルト構想について、沖縄県の振興計画を踏まえて町長の見解を伺う。

町長 本町も検討委員として参画をしている。今、構想検討委員会での内容がまとめられ、国道329号、バイパスの実現と大型MICE施設の整備で、町が行っている都市計画マスタープランを盛り込む形にしたいと思う。

行政のDX化に対応していくために

問 今後加速していく役所のDX化に向けてどのような取組を行うのか。

総務部長 令和3年度より、企画財政課に自治体DX担当を置き取組を推進していく。

問 予算の確保や有効活用するためにも職員の意識向上が必要だと思いが如何か。

総務課長 ーリテラシーの向上が大変重要であり、そのために研修等も進めていきたい。

問 目の前のサービス向上が今後、町民にとって大事になっていく。これから西原町である大きな事業



ぎま しゅんたろう
儀間 駿太郎 議員

待機児童問題解消に向けて！

問 現在の待機児童問題の一番の課題は保育士不足だと思いがその通りか。

ごごも課長 保育士不足が主な要因となっている。

問 保育の現場で働いている方と担当部長が連携を図れる環境をつく

道路網の整備

問 兼久東崎線と兼久仲伊保線が交差点となる部分への完成後の信号機設置の予定について。

建設部長 公安委員会と信号整備の調整を行い、設置の予定で回答を得ている。

その他の質問

○施政方針の中でチャレンジチームの設置について
○学校教育の充実で部活動の指導について
○地域福祉計画と地域福祉活動計画について
○兼久東崎線道路予定地の放置車両の現状について

町長 うるま市が先行しているにーやデジタル化を掛け合わせて県・国に交渉し、新しい街づくりの環境にしては如何か。

問 このような世の中の流れの中で、町として特色を出せるような考えはあるか。

町長 国の動きに追いつかなければ市町村はもたない。いろんな提案を受けたので内部で検証し、その中から明日の西原町が見えてくると思っている。

その他の質問

○納税等の電子決済に向けて

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



まえしろ 真栄城 哲 議員

■町財政「危機的状況は脱した！」

問 今回の編成を見る限り、四年前の危機的状況は脱したと考える。当時の公債費約109億円から3月末約95億円。経常収支比率もかなり改善されている。四年前からの取組み

■コロナ交付金活用提案

問 地域活性化について。新型コロナウイルスにより、感染症対応策や子育て・教育、経済政策などの対応を行っているが、集まりがでず、地域のつながりが希薄にならざるを得なかった自治会にも予算を配分し、新しい事業を組み立ててはどうか。
総務部長 自治会への配分について現在どのような手法が可能なのか、案は持ち得ていないが、自治会が国庫補助金を活用した事業を行う場合、各自治会で事業計画を提出し、総会で予算を立て、申請、実績報告等、事務処理をきちんと行えるかどうかというのを考えなければならぬと思う。



おおしろ せいいち 大城 誠一 議員

■重層的支援体制整備事業について

問 改正社会福祉法に基づき、各市町村で、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業が創設され、令和3年4月に施行される。移行準備事業として国が事業費の4分の3

が効果的に機能していると判断する。さらには、財政調整基金の持ち出しも減り、各基金へ積立てがなされている。この結果をどう考えているか。
町長 これまでのアクションプランを通し、職員や議員、町民が取組みに对应してもらい、結果としてつながったと思う。

■民間資金活用！構想をしっかりと！！

問 いよいよ第一歩を踏み出した。一番重要なのは、官民双方にメリットがなければならぬ。また、この事業を進展させていかなければならぬ。そのためには、行政も横断的な取組みが必要であると考えているが。



みやざと ひろふみ 宮里 洋史 議員

問 収入減少により、社協を通じて借入れを行っている世帯が西原町でも急増している。総合支援資金の延長もしている世帯は、より深刻だと考

える。その世帯へ給付金事業を行ってはどうか。
町長 コロナ禍による生活困窮世帯へは、町社会福祉協議会が総合支援資金等の特別貸付を実施しており、これまで

を補助する事業が始まる。取り組むべきと考えるが町長の見解は。
町長 誰もが地域の支え合いの中で、自分が望む生活を続けられる地域共生社会を実現するために、重層的支援体制を構築していく必要があるものと認識している。しかし、まずは福祉関連計画の上位である地域福祉計画を策定後、移行準備事業実施に向け検討する。

■認定こども園創設の取り組みは

問 12月定例議会において、実施できる方法や実施時期等を検討すると答弁しているが、なぜ今創設するのか。
町長 子ども達の未来のために私

町長 今回、チャレンジプロジェクトチームを立ち上げ、企業の皆様と意見交換し、関係課も加わる形で、横断的に取組む。

■地域福祉計画策定がはじまる！！

問 福祉の根幹である、地域福祉計画と重層的支援体制整備事業も併せて取組んでいくべきと考えるが計画はどうなっているか。
町長 地域福祉計画を策定し、実行し、その後に取組みをしたいと考えている。

■「西原まつり」開催は？

に約1,400世帯が貸付を受けている。貸付終了前に自立した生活を営むことが困難であると。そして総合支援資金の延長を申請する世帯が増えていると伺っている。議員提案の新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を活用した生活困窮世帯への給付金事業については、コロナ禍の影響を強く受けている世帯へ、どのような形でどれだけの支援ができるのか。関係課と調整をしていく。

■待機学童児童解消への取り組み

問 小規模学童を認め、地域ニーズに合わせた子ども居場所づくりを今後検討すべきではないか。
福祉部長 小規模学童クラブの活用については、今後増設を進めていく中

の公約として町民に約束したことなので、プロジェクトチーム設置後検討していきたい。
問 何を検討するのか詳細は。
町長 認定こども園を運営している市町村を訪問し、創設する場合の進め方や留意点等あるいはスケジュール等も含め調査検討する。

■委託相談支援事業（障がい者対象）について

問 来年度から委託相談事業所が1か所となる。委託相談は、困難ケースや緊急を要する案件が多い。一事業所での対応で支障はないのか。
福祉部長 この相談支援事業は、より専門的で手厚い支援が行えること

問 一般町民のワクチン接種が10月ぐらいつから開始。町内外から多くの方が来るといふ状況を考えると、実行委員長として町長の決断は非常に重いと思うがどう考えているか。
町長 今回の事業として一番大きいのは、ワクチン接種事業である。まずは、町民の生命を守ることが一番だと考えている。そこを優先しながら、事業展開できればと考えている。

その他の質問
○平和事業について
○デジタル化に向けた体制づくりについて

その他の質問
○西原まつり開催決断時期について
○保育士確保策
○デジタル化を含めたまちづくり
○職員体制について



が重要。一事業所で町内すべての相談を引受けるには限界がある。そこに関しては障がい支援係の保健師等と連携して行っていく。

■東崎・兼久線等の放置車両の撤去

問 景観上も防犯上も早めの撤去を望むが進捗状況は。
建設部長 3月に名義人住所地を訪ねたが不在であった。今後、行政代執行も視野に入れて進める。

その他の質問
○認可保育園の待機所室について
○学校教育の充実について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



きなまさもり
喜納 昌盛 議員

町長の「施政方針」について

問 4つの基本理念の具体的な考えは何か。

町長 一つ目の行財政運営の健全化のためには、財源確保を国、県、民間企業等へ積極的にトップセールスを行っていく。二つ目の子ども達の未来

のためには、幼稚園の認定こども園化、タブレット等の導入、保育士確保による待機児童の早期解消を早期に行う。三つ目の明るいまちづくりのためには、大型MICE施設の早期建設促進及び後背地の土地利用見直し、モノレールのマリンタウン地域への延伸推進、工業・商業地域拡大による企業誘致及び雇用創出、さわふじマルシェを核とした地域活性化、いいあんべー事業、シルバー人材センターのさらなる活用、内閣御殿の早期整備促進、プロスポーツキャンプの積極的な誘致、地域自治会活動の推進を図っていく。四つ目の平和の実現のためには、平和を希求する取組を続け、基地のない平和な島を実現し、二度と戦争を起さ

すまい。幼稚園の認定こども園についてはいけないことを次世代に伝えていく。
問 施政方針は町の広報にも載る。文章では全く見えない。今言ったことをしっかり書いて町民に訴えるべき。町づくりについで町長の思いは。
町長 これからいろいろな機会を通して述べていく。
企画財政課長 まちづくり指針は今月策定しホームページで町民に公表する。

問 プロジェクトチームを止め、西原まちづくり推進室とか室長を置いて4年間頑張っていく姿勢は。
町長 議員からのいろいろな良い提案、本来なら室でも設けるという思いは私も一緒。しかし今現実はそのような状況にないと見ている。

その他の質問
○新型コロナウイルス接種対応プロジェクトチーム、チャレンジプロジェクトチームについて
○那覇広域都市計画区域分協議会、「市街化調整区域における土地利用計画研究会」、「地域振興支援事業」について

辺野古への埋め立て土砂問題と核兵器禁止条約への町長の見解

問 沖縄戦犠牲者の遺骨が眠る南部地区の土を辺野古新基地建設のための埋め立て工事を使うことに対する町長の見解を伺う。
町長 新基地建設に賛成か反対か



いけいひろこ
伊計 裕子 議員

以前に、戦没者への冒瀆であり、人道的観点からも大きな問題である。南部一帯は県民にとって特別な場所である。県としても県民感情に配慮した適切な対応をすべきである。

町長 この条約に日本はまだ参加していない。唯一の被爆国であることから、日本政府に対しては、参加に向けた前向きな議論を期待したい。

「わがびん」では、『メリットとデメリット』について慎重な議論を重ね、今後の方向性を定める必要がある』となっている。(1)メリットとデメリットについて慎重な議論を重ねたのか。(2)既存の幼稚園及び保育施設との協議は行われたのか。
町長 (1)及び(2)併せて答える。認定こども園の創設におけるメリットとデメリットについては、今後プロジェクトチームで調査研究していく中で、整理をしながら、その状況を踏まえ検討していく。

ども園になったからといって、いきなり3歳から預かるということではなく、現行の状況を認定こども園化していく。将来的には、財政と調整しながら3歳からということを目標としている。

その他の質問
○「ミニニースクールの導入について」
○「コロナ禍における町民への支援について」
○少人数学級について

問 今年1月22日、「核兵器禁止条約」が発効した。「西原町非核反戦平和都市宣言」を採択している西原町の町長としての見解を伺う。

問 「施政方針」、「まちづくり指針（案）」で、認定こども園の創設が掲げられている。令和2年3月策定の

問 幼稚園はそのまま、いずれは3歳から、それと別に認定こども園はつくっていくという構想なのか。
副町長 そうではない。現行の幼稚園は4歳、5歳を預かっている。認定こ



ながはまひろみ
長浜 ひろみ 議員

公的奨学金返還支援

問 日本学生支援機構の返還が必要なた貸与型奨学金利用が全国で129万人余、今の大学、専門学校に通っている学生の2.7人に1人。平均貸与額は無利子奨学金で24.1万円、有利子で34.3万円、1人当たり年間平均20万円返済している計算にな

る。返還人数は全国で428万人となり、民間企業などによる自社の人材確保策として独自の奨学金返還支援の取り組みが始まり、自治体の奨学金肩代わり返済も令和3年から10分の10特別交付税で措置される。中間所得層の負担軽減、定住促進として全国で32府県、423市町村で実施、西原町でも取り組むべきでは。
町長 総務省による奨学金を活用した地方定住促進であると思われる、学生が返還する奨学金の一部、または全部を市町村が負担する対象となる学生の支援としては、移住、定住が条件となっている。今後情報収集を行い制度運用の精査、財政状況を勘案し検討していく。

問 地域福祉計画策定委員の構成について。
福祉部長 地域福祉計画策定委員は15人以内で組織し、学識経験者、保健医療福祉関係者、公募による町民、行政機関の職員、他町長が必要と認める者を委嘱、または任命する予定である。

問 各種税目や保険料、給食費、保育料等の支払いにアプリ決済を導入してはどうか。南風原町が次年度から取り組み、与那原町も上下水道料金で利用している。
総務部長 納付方法の多様化に対応するため、電子決済の導入を実施、検討する自治体が増えている。他市町村の動向や費用対効果を検証し、導入の是非を検討する。

その他の質問
○新型コロナウイルスワクチン接種
○重層的支援整備事業への移行準備事業
○保育行政

地域福祉計画

認定こども園創設計画を聞く。
町長 認定こども園の創設は、子どもたちの未来のために今後、プロジェクトチームが設置された後、取り組みをしていきたい。

税の納付にアプリ決済導入

認定こども園の創設は、子どもたちの未来のために今後、プロジェクトチームが設置された後、取り組みをしていきたい。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



やびく みつる
屋比久 満 議員

■新型コロナウイルス関連

問 (1) 町内感染者の総計は。(2) ワクチン接種年齢、接種対象者数は。(3) 集団接種、個別接種方法と接種料金は。

福祉部長 (1) 本町のコロナ感染者数は、令和3年3月7日現在で累計120人。(2) ワクチンによって対象年齢が異なる可能性があり、対象は全年齢、約3万5,400人を想定。(3) 集団接種は西原町保健センター、個別接種は、町内12の医療機関を予定。いずれも無料。

■施政方針を問う

問 (1) 東海岸サンライズベルト構想について。(2) 都市基盤施設整備関連を聞く。(3) 国道329号バイパス整備により移転する企業や町民も多くなるが町長の見解は。

町長 (1) 参画する市町村と連携し県の新たな振興計画に盛り込まれ、東海岸地域の活性化が図れるよう取り組む。(2) マスタープランを基本に

マリンタウン背後地の土地利用構想を進め、工業用地区の現状と課題を整理し実現に向け整備手法や手続き等の検討を行っている。(3) 現在、南部国道事務所が個々の補償交渉を進めていると聞いている。今後は国・県と協力体制を整えて、さらに地権者や商工会、産業通商会と意見交換を行い事業の円滑な推進を図る。

■庁舎内外工事関係を質す

問 (1) 正面玄関側の駐車場と基礎の陥没について。(2) 庁舎内床面の補修力所等は。(3) 床張り替え面積は。(4) 工事金額と費用負担は。(5) 今後の対応は。

総務部長 (1) 2,3センチ沈下

している状態で、建物自体は地盤改良杭やPHCパイプで支持しており沈下はない。(2) 令和3年1月23日に庁舎1階廊下全体と2階廊下の一部を約330㎡張り替えた。(4) メーカー補償のため、町の負担はない。(5) 今後タイルの張り替えは、会議室や執務室部分も予定している。大掛かりな工事となるため、工程等について、メーカーと調整する。

その他の質問

- さわぶじマルシェについて
- 認定こども園の創設、子育て包括支援センターの設置の具体的な取組
- 下水道事業の経営健全化について

■日の目を見るかマイス事業

問 新聞報道で、県は2020年度中の基本計画策定を見送ったとある。新たな策定公表の時期は未定で21年度に3,500万円の予算をつけ策定を目指すとする。民間と連携しての事が見解を聞く。

町長 遅れた理由としてコロナウ



ぎま のぶこ
儀間 信子 議員

者との和解金9,000万円について、町長は知っていたか。

町長 知らなかった。

問 マイス事業の遅れは受け入れ環境整備事業費の件、落札者との和解金の件、これが理由ですとサンライズ推進協議会に説明するよう修正動議をかけた県議は言っている。聞いているか。

後多くの自治会で同活動が実施できるよう支援を考えている。さらに、青年会の活動の活性化を図っていきたい。

■道路行政について

問 我謝地内の町道は通勤時間1時間当たり200台の車両が通過し、安室に向かって53番地の道路が狭くなっている、大変危険な道路である。町の考えを伺う。

建設部長 町道我謝小波津線の我謝53番地の道路幅員が狭いため、道路幅員を1ないし2メートル程度拡幅する必要があると考えている。

問 我謝475番地入り口に三角コーンが設置されている。道路が半分しか使えない。橋の修繕はいつ頃予定しているか伺う。

■企業誘致について

問 優良企業であるオキコ株式会社 の岐阜地区への誘致について、開発行為の申請に向けて町との協議がされており、早めに許可できると思っている。事業導入時期については財政状況をしながら県と調整を進めていきたいと考えている。

問 優良企業であるオキコ株式会社 の岐阜地区への誘致について、開発行為の申請に向けて町との協議がされており、早めに許可できると思っている。事業導入時期については財政状況をしながら県と調整を進めていきたいと考えている。

いう事だが、知事と一緒に国に要請する考えはないか。

町長 私のトップセールスというのは、町、地元を優先したいというのが第一義である。考えていない。

その他の質問

- ジエンダー平等
- 女性の管理職への登用
- トップセールスによる財政健全化
- 土地区画整理事業
- 敬老祝金支給
- 高額寄付
- 民生委員、児童委員

町長 従来5歳以上という、地区計画の型があるが、また並行して0.5歳、幹線道路に接した区域について準工業的なもの用途までできる地区計画が新たにできたので、今後開発区域の誘導を図りたいと思っている。

その他の質問

- 西地区土地区画整理事業
- 徳佐田・幸地区の都市基盤整備
- ポランテアによる美化活動
- 町長の施政方針



たいら まさゆき
平良 正行 議員

■町長選挙の政策ビラについて

問 町長は自主的な地域自治会活動の支援をすると言っているが、どのような支援か伺う。

町長 まずは自主防災組織の活動を支援していきたい。自治会で学習支援などを行っているところもあり、今

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



可決!

令和3年度 一般会計予算

歳入歳出総額 **116億5200万円**

令和3年度 特別会計予算(3会計)

歳入歳出総額 **50億3294万円**

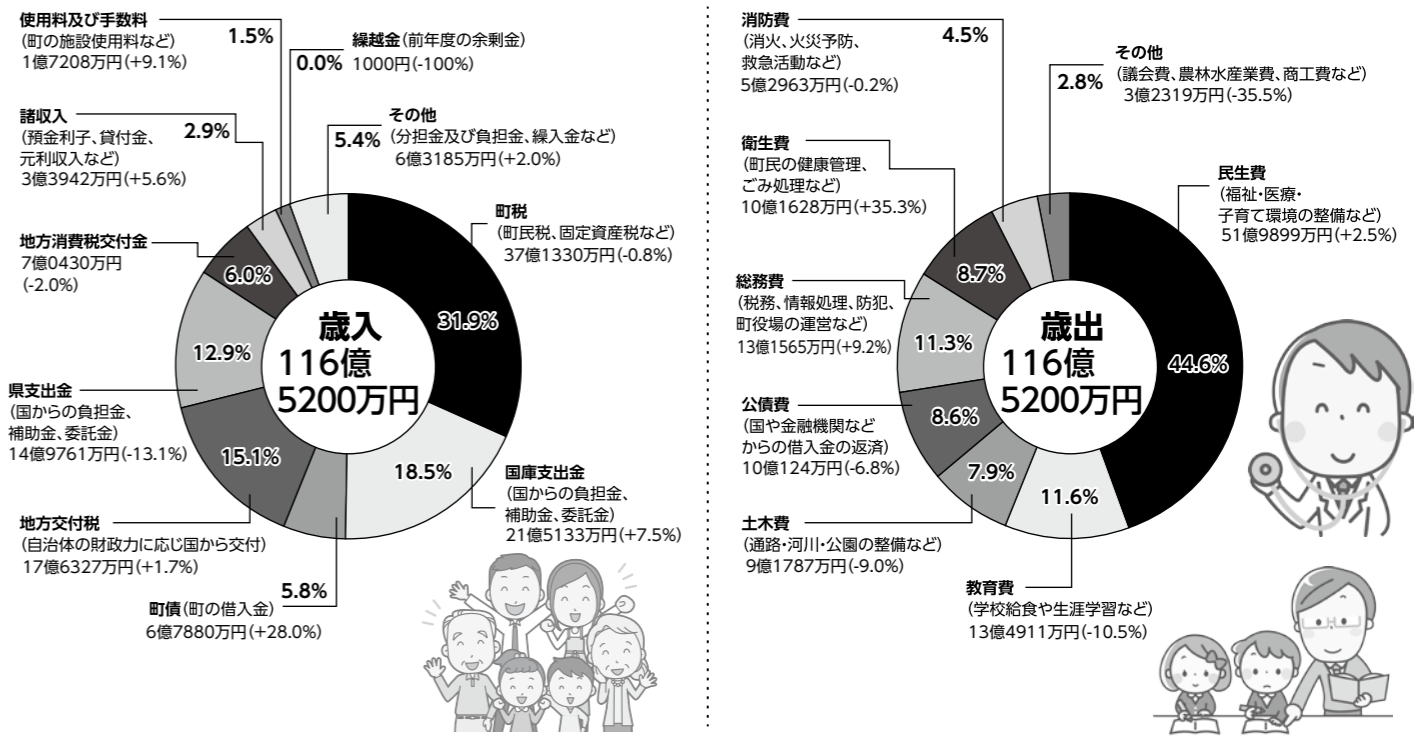
3月定例会は、3月2日から3月23日(23日間)の会期で開かれ、定例会冒頭、町長から令和3年度の施政方針演説がありました。今定例会では、町長提出の総額116億5200万円の令和3年度の一般会計予算をはじめとする32議案及び同意人事議案2件、陳情10件、意見書・決議6件を審議し、慎重審議の結果、陳情1件が配布、1件が審議未了、1件が趣旨採択、1件が一部採択、2件が継続審査、そのほかは原案のとおり可決・同意・採択されました。

令和3年第2回西原町議会定例会提出議案議決結果		
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (GIGA スクール環境整備事業 児童生徒用端末物品売買契約 変更契約)	承認
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について (呉屋 勝司 氏)	適任
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について (島袋 和徳 氏)	適任
同意第1号	教育委員会委員の任命について (前田 朋哉 氏)	同意
同意第2号	監査委員の選任について (杉山 忠司氏)	同意
議案第2号	町道路線の認定について	原案可決
議案第3号	西原町農水産物流通・加工・観光拠点施設修繕等基金条例について	原案可決
議案第4号	西原町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第5号	西原町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第6号	西原町議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第7号	西原町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第8号	西原町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第9号	西原町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第10号	西原町延滞金徴収条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案第11号	西原町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第12号	西原町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第13号	西原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第14号	西原町いいあんべ一家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第15号	西原町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第16号	西原町児童館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決

令和3年度の主な事業

- 保育士試験受験者支援事業
- 保育補助者雇上強化事業
- 子育てのための施設等利用給付事業
- リサイクルヤード建設事業
- 人・農地問題解決加速化支援事業
- 森林環境譲与税基金積立事業
- 小波津川改修工事
- 東崎兼久線街路整備工事
- 町立小学校教育振興事業
- 西原町立中学校体育館長寿命化事業
- 橋梁新設改良事業
- GIGAスクール環境整備事業

一般会計予算(歳入・歳出)の内訳



会計予算比較表		令和3年度	令和2年度	増減額
一般会計		116億5200万円	116億5000万円	200万円
特別会計	国民健康保険	40億4916万円	40億8125万円	▲3164万円
	土地区画整理事業	6億6951万円	2億6032万円	4億918万円
	後期高齢者医療	3億1427万円	2億9562万円	1864万円

皆さんからの陳情はこうなりました

	件名	提出者	採択方法及び付託委員会	
陳情第 850 号	固定資産税（土地）に関する陳情書	城間 英一	総務財政常任委員会	趣旨採択
陳情第 852 号	一般社団法人西原町観光まちづくり協会設立に関する玉那覇敦也理事（西原町役場職員）の行為について	宮城 直	建設産業常任委員会	審議未了
陳情第 853 号	無登録住民の改善についての要請書	西原町行政区自治会長会	総務財政常任委員会	一部採択
陳情第 854 号	中国の脅威から台湾・先島の防衛を求める意見書を決議することを求める陳情書	幸福実現党沖縄浦添後援会	配布	
陳情第 855 号	後期高齢者医療制度窓口負担 2 割化の中止を求める意見書提出に関する陳情書	沖縄県社会保障推進協議会	文教厚生常任委員会	継続審査
陳情第 856 号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書	沖縄県医療福祉労働組合連合会	文教厚生常任委員会	継続審査
陳情第 860 号	掛保久区宅地開発に伴う安全な街作りへの要望書	掛保久自治会	建設産業常任委員会	採 択
陳情第 857 号	西原町放課後児童クラブの質・量の確保を求める陳情	西原町学童保育連絡協議会	文教厚生常任委員会	採 択
陳情第 859 号	「ももたまな学童」への補助金適用に関する陳情	ももたまな学童保護者会	文教厚生常任委員会	採 択
陳情第 858 号	国民健康保険税（料）の特例減免等の継続を求める陳情	沖縄県商工団体連合会	文教厚生常任委員会	採 択
意見書第 1 号	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国民健康保険税の特例減免等の継続を求める意見書	文教厚生常任委員会	本会議即決	原案可決
意見書第 2 号	米軍機の低空飛行訓練に対する意見書	3 常任委員長	本会議即決	原案可決
決議第 1 号	米軍機の低空飛行訓練に対する抗議決議	3 常任委員長	本会議即決	原案可決
意見書第 3 号	在沖米海兵隊員による強制わいせつ事件に対する意見書	3 常任委員長	本会議即決	原案可決
決議第 2 号	在沖米海兵隊員による強制わいせつ事件に対する抗議決議	3 常任委員長	本会議即決	原案可決
意見書第 4 号	沖縄本島南部地区の土砂採取に関する意見書	3 常任委員長	本会議即決	原案可決

請願書、陳情書を出すときには

どなたでも、町政について要望があるときは、議会に対し、請願・陳情をすることができます。紹介議員があるものを請願、ないものを陳情と呼びます。提出された請願・陳情は、町議会（委員会）で内容を審査し、本会議で採択・不採択の結論を出します。結論が出たものについては、陳情者、請願者に通知するとともに、採択された陳情・請願は町長や関係機関などに送り、その実現に努力をするよう求めます。詳しい内容は、西原町議会HPへ。



検索

議案第 17 号	西原町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 18 号	令和 2 年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第 19 号	令和 2 年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第 20 号	令和 2 年度西原町後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第 21 号	令和 2 年度西原町土地区画整理事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第 22 号	令和 2 年度西原町下水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第 23 号	令和 3 年度西原町一般会計予算について	原案可決
議案第 24 号	令和 3 年度西原町国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第 25 号	令和 3 年度西原町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第 26 号	令和 3 年度西原町土地区画整理事業特別会計予算について	原案可決
議案第 27 号	令和 3 年度西原町下水道事業会計予算について	原案可決
議案第 28 号	令和 3 年度西原町水道事業会計予算について	原案可決
議案第 29 号	令和 2 年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
発議第 1 号	西原町議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決

町民の声を積極的に拾い上げるために西原町議会委員会条例の一部を改正しました。

<改正理由> 西原町議会では、各常任委員会において、広く町民や各種団体等から意見等を聴取及び集約し、当該意見等を調査事項や政策立案に反映させるため、積極的に所管事務調査を行うことを条例にて明文化する。

◆改正箇所 (所管事務調査)

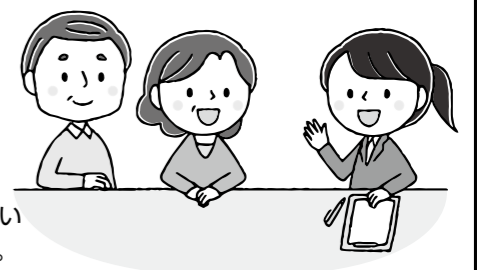
第 28 条 常任委員会は、町政の課題に適切かつ迅速に対応するため、閉会中においても所管事務調査の積極的な活用により、その機能を十分発揮しなければならない。
2 常任委員会は、定期的に町民及び各種団体等から町政に対する意見及び要望を集約し、所管事務調査の充実に資するよう努めるものとする。

◆各委員会の所管分野

総務財政常任委員会
総務部（総務課、企画財政課、税務課、町民課）、会計課、選挙管理委員会、監査委員及び他の常任委員会の所管に属しない事項

文教厚生常任委員会
福祉部（福祉保険課、健康支援課、こども課）及び教育委員会に関する事項

建設産業常任委員会
建設部（土木課、都市整備課、産業観光課、上下水道課）及び農業委員会に関する事項



議会活動

総務財政常任委員会

～閉会中の継続審査～

総務財政常任委員会(真栄城哲委員長)は、12月定例会で継続審査とした固定資産税(土地)に関する陳情について、1月15日、委員会を開催し担当部署(税務課、都市整備課)に対する聞き取り調査を行いました。(3月定例会にて同陳情は趣旨採択。)



▲総務財政常任委員会の様子

3 常任委員会合同所管事務調査～3月定例会～



▲小波津川下流区域



▲サンエー西原シティ開発箇所

3月定例会中の3月11日、3常任委員会(総務財政・建設産業・文教厚生)は合同で小波津川下流区域、サンエー西原シティ開発箇所、西原さわふじマルシェ前シンボルロード五叉路の3箇所を視察し、担当課長等から事業の概要及び進捗状況の説明を受けました。



▲西原さわふじマルシェ前五叉路

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会(伊計裕子委員長)は、1月26日、委員会を開催し西原町社会福祉協議会と福祉分野における現状や課題等について意見交換を行いました。頂いた意見をこれからの政策提言等に活かしてまいります。

インターネットで議会を知ろう!!

皆さんは西原町議会のホームページをご覧になったことはありますか?本会議や一般質問の動画録画配信、会議録やこれまで発行した議会だよりなどを公開しています。町のためにどのようなことが話し合われているか、ぜひご覧ください。

表紙QRコードからもアクセスできます

西原町議会

検索



題字制作者



西原東小学校4年

ざは たいと
座波 大斗さん

【ひとこと】

西原東FCでサッカーをがんばっています。ドリブルとっぱしてゴールを決めるのが目標です。

表紙の題字と写真を

お寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか?

表紙の**題字**(『議会だより』の文字。横書き)と**写真**を募集しています。うまいへたは関係ありません。こどもから大人まで、生き生きとした題字と写真をお待ちしています。

送付先 議会事務局(担当:漢那)

TEL 945-5122 FAX 945-5045
mail: gikai_jimu@town.nishihara.okinawa.jp

3月議会の傍聴者

延べ人数

25/人

議会だよりに対するご意見、ご要望等はこちらへ

西原町議会事務局
TEL:098-945-5122

議会広報誌も年四回皆様へ届けておりますが、ぜひご愛読いただきたい。大変な時期ではありますが、皆様の健康を願っております。

議会広報調査特別委員会
委員 新川 喜男

しずやね

三月そして四月は一年の中で大変忙しい時期を迎えております。また、新緑そして花の綺麗な時期でもあります。庁舎となりの「うんたま市場」横には沖縄を代表するデイゴの花も咲きました。30本のデイゴの木が小波津川沿いに100m余り大木になって花を咲かせました。沖縄では至る所にデイゴは花を咲かせておりましたが、害虫「ヒメコバチ」が発生してからはほとんどデイゴの花も見えなくなりました。次の小波津川河川工事は「デイゴ通り」です。デイゴは残してほしい。来年も花を咲かせてほしい。町民の願いだと思っております。